

8-7 近畿北部の地殻活動 ～地殻変動連続観測のトレンド変化～

Crustal Activities in Northern Kinki District – Strain rate change in the Continuous Observations of Crustal Deformations –

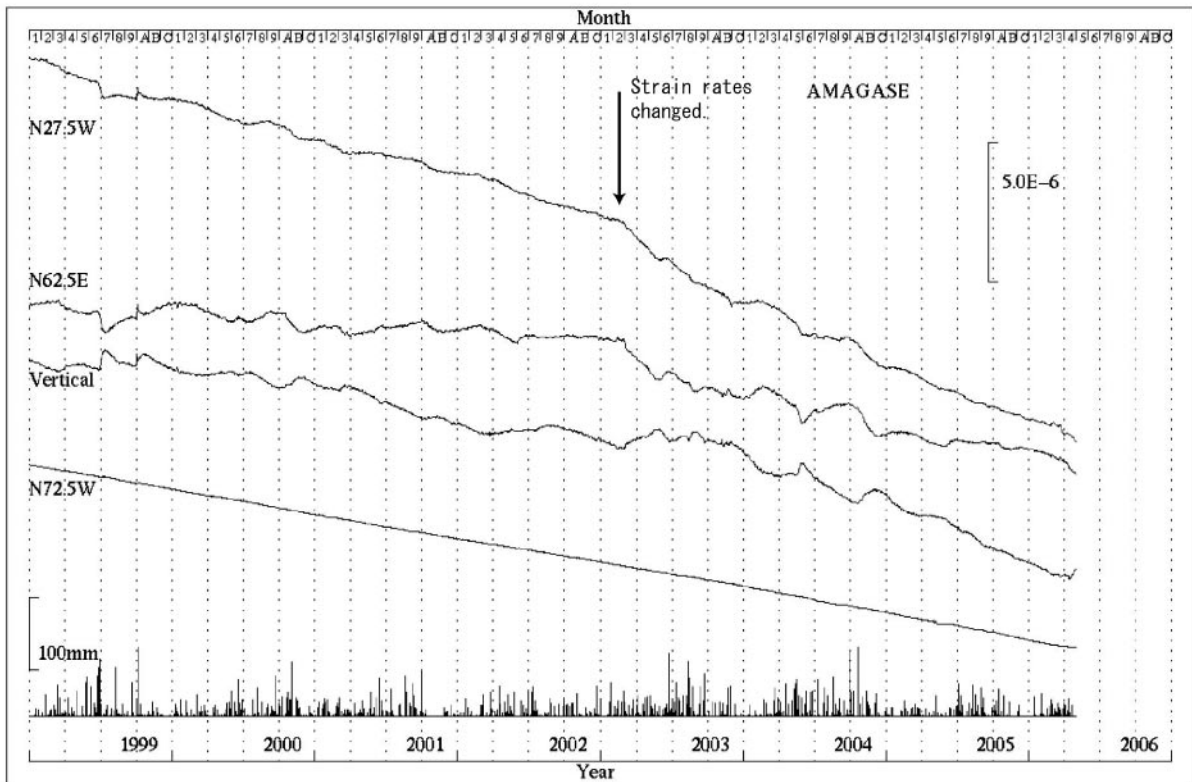
京都大学防災研究所地震予知研究センター
Research Center for Earthquake Prediction,
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

近畿地方中部の複数の地殻変動連続観測点において 2003 年初頭に伸縮計記録のトレンドに変化がみられ、歪速度が異なったことが観測されている¹⁾。この状態は、その後現在に至るまで継続しているため 1999 年以降最近までの記録を示す。また別稿に示すように対応する変化は GEONET 記録の解析でも明瞭である。屯鶴峯観測所のみ、他よりも 1 年前後早い 2002 年始めごろにトレンドの折れ曲がりが見られるが、近畿全域の GPS データの解析によると屯鶴峯観測所の近辺、大阪・奈良・和歌山の府県境の辺りでは 2001 年後半にトレンド変化が見られるので、これと調和するものと考えられる。

(文責 森井 亘・大谷 文夫)

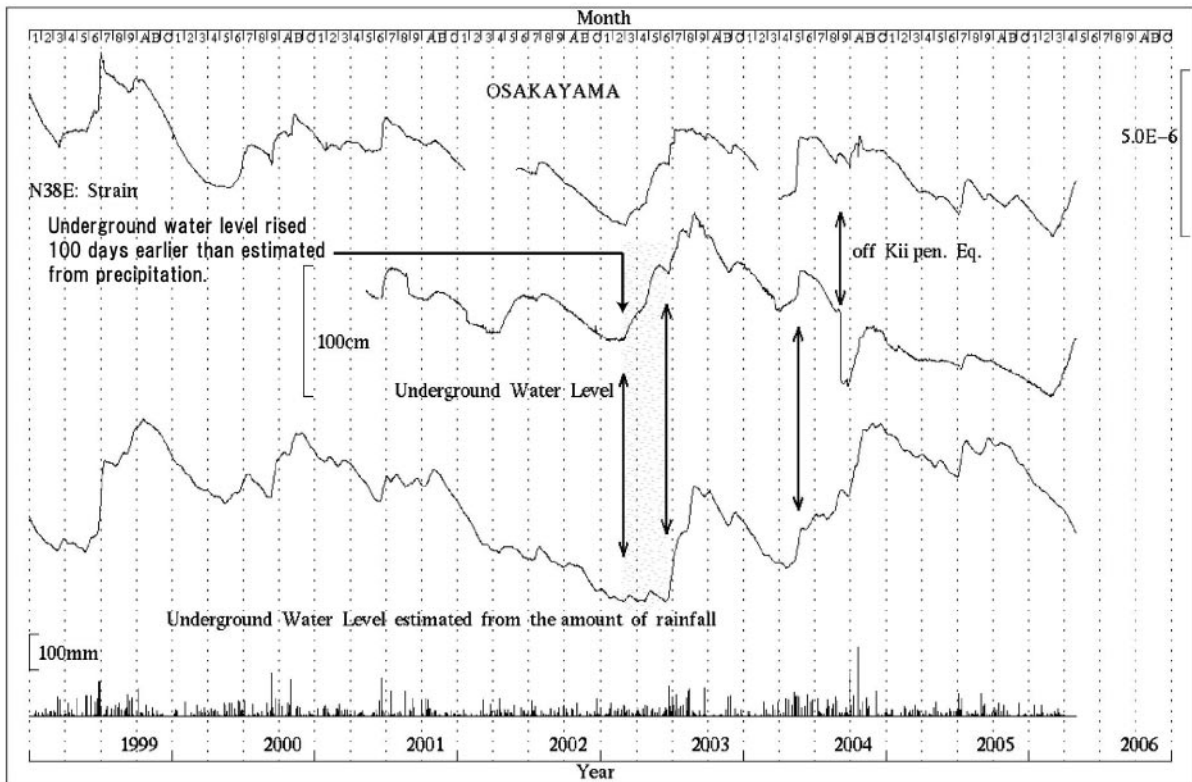
参 考 文 献

- 1) 京都大学防災研究所地震予知研究センター，地殻変動連続観測記録に見られる最近 1 年間の歪レートの変化と水位変化，連絡会報 (72)，528-529.



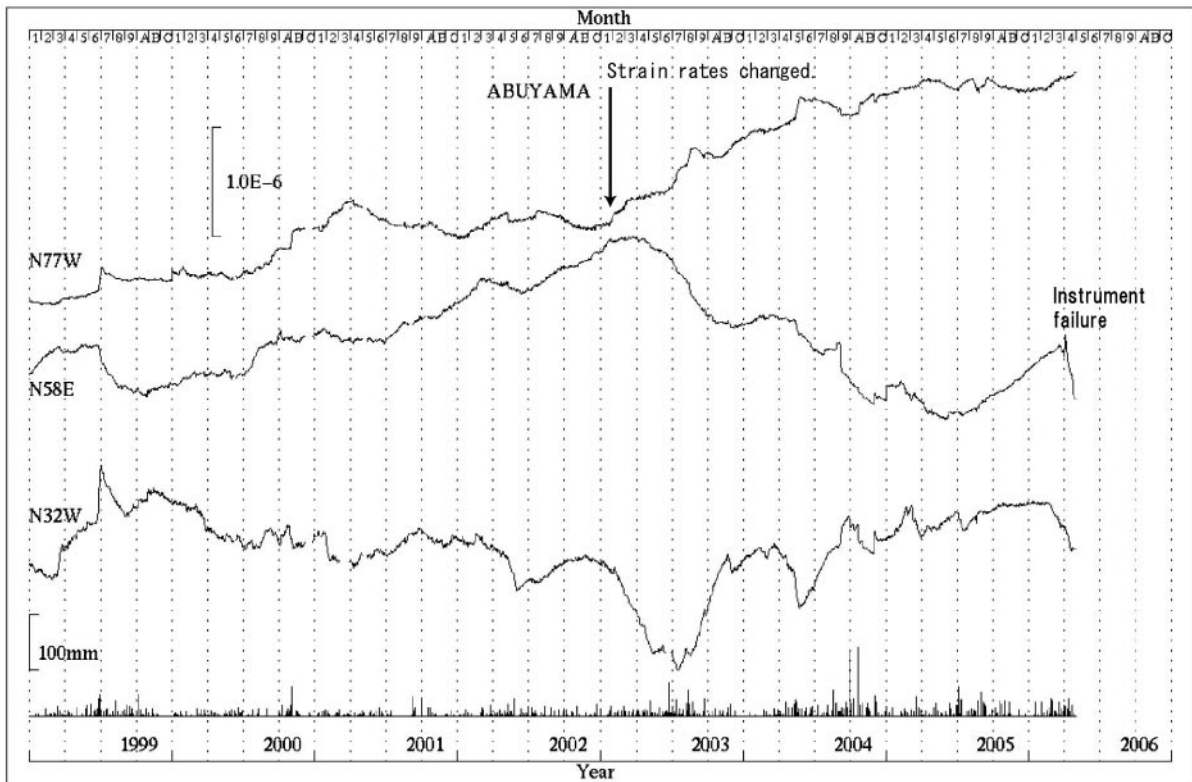
第1図 天ヶ瀬観測室における歪変化と日雨量（1999年1月～2006年4月）

Fig.1 Strain changes and daily precipitation at Amagase observatory. (Jan. 1,1999 ~ Apr31,2006)

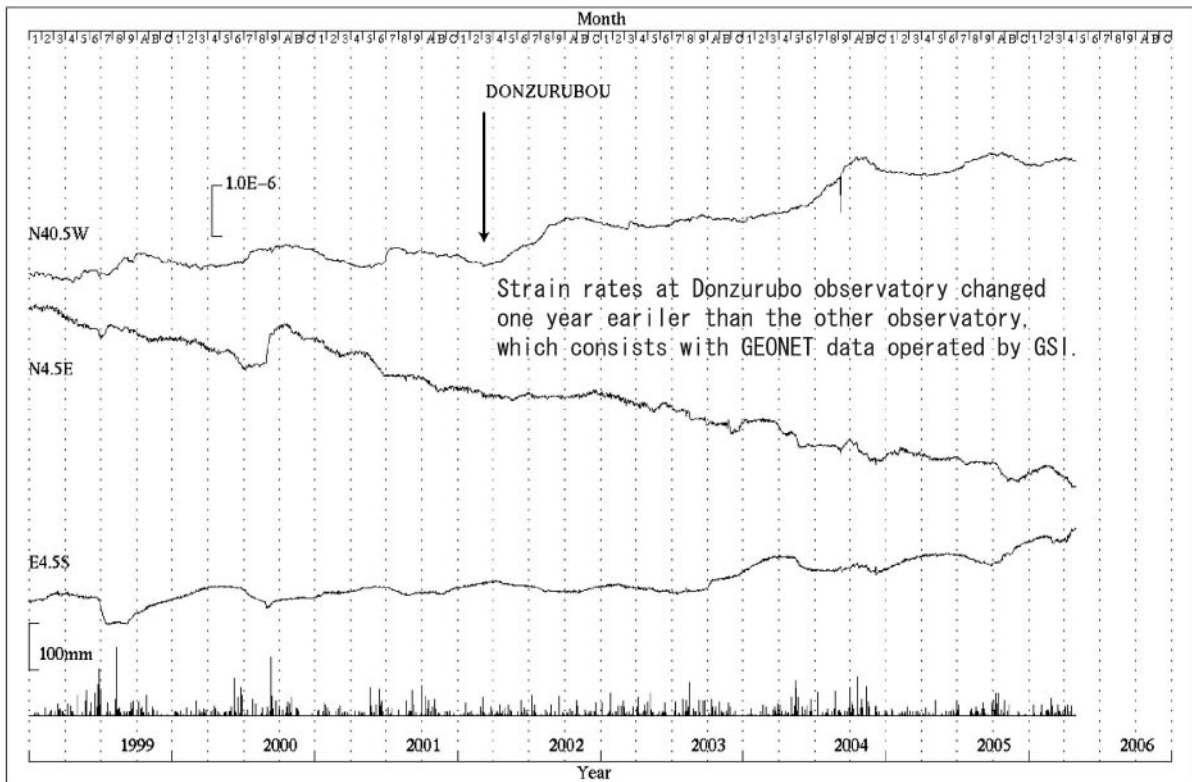


第2図 逢坂山観測所における歪変化，地下水位，日雨量と雨量から算出した地下水位推定値（1999年1月～2006年4月）

Fig.2 Strain change, underground water level, daily precipitation and estimated underground water level from precipitation at Osakayama observatory.(Jan. 1,1999 ~ Apr 31,2006).



第3図 阿武山観測室における歪変化と日雨量（1999年1月～2006年4月）
 Fig.3 Strain changes and daily precipitation at Abuyama observatory.
 (Jan. 1,1999 ~ Apr31,2006).



第4図 屯鶴峯観測室における歪変化と日雨量（1999年1月～2006年4月）
 Fig.4 Strain changes and daily precipitation at Donzurubo observatory.
 (Jan. 1,1999 ~ Apr31,2006).